

## 令和3年度 理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	改訂 高等学校地学基礎 (第一学習社出版)						
副教材等	改訂ネオパルノート地学基礎 (第一学習社出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・中学校の教科としての理科と高校の科目としての地学の違いを明確にして、地学で何を学ぶのかを生徒が理解できるようにしていく。また地学を通して身につけてほしい知識・能力についても説明し、目的を持って授業をうけられるようにしていく。

・なぜ雨は降るのか、なぜ地震は起きるのかなどのあるふれた日常現象に関心をもつことを大切にしてほしい。そのメカニズムを理解することで、将来の危険を回避できるだけでなく自然に対する見方が変わっていく。まずは身の回りの現象に対して疑問をもつことから始めて下さい。

## 2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球の構成や宇宙の成り立ちを学ぶ。そうして地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述	発表や討論 学習状況の観察 ノートやプリントの記述 定期考査	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考査	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙における地球	宇宙の構成	○			○	a:宇宙の姿や太陽系の中の地球について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:宇宙と地球の誕生と現在の姿について考察し、導き出した考えを表現している。 c:太陽や恒星について観察などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:宇宙の誕生と銀河の分布、地球の特徴について理解し、知識を身につけている。	観察 プリント等の記述 演習への参加 定期考査
		太陽	○			○		
		太陽系の中の地球	○	○		○		
	活動する地球	地球の姿	○	○	○	○	a:プレートの運動について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:プレートの運動が大地形の形成にどのように関わっているのかについて考察し、導き出した考えを表現している。 c:プレートの運動について観測データを収集、処理し、その過程や結果を的確に記録、整理している。 d:プレートの運動に伴う大地形の形成について理解し、知識を身につけている。	観察 プリント等の記述 演習への参加 観察、実験への参加 定期考査
2学期	活動する地球	火山活動と地震	○	○	○	○	a:火山活動、地震について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:火山活動と地震をプレートの運動に関連付けて考察し、導き出した考えを表現している。 c:火山活動と地震について観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:火山活動、地震の発生の仕組みについて理解し、知識を身につけている。	観察 プリント等の記述 演習への参加 定期考査

